

医療的ケアの必要な子どもたちの未来

～在宅移行期、未就学児、学齢期の医療的ケアを考える～

医療的ケアの必要な子どもは全国で約 17,000 名と言われていています。経管栄養やたんの吸引などに加え、近年は人工呼吸器を装着したても元気な「医療的ケア児」と呼ばれる子どもたちも増えつつあります。

平成 28 年には障害者総合支援法及び児童福祉法が改正され自治体においては医療的ケア児への保健、医療、福祉、その他関連分野への措置について努力義務が課せられました。しかし、実際の現場では遅々として進んでいません。今回のシンポジウムでは、インクルーシブな共生社会実現を目指して、「在宅移行期」「未就学児」「学齢期」のライフステージにおいて「今」なにができるか、しなければならないかを、医療的ケアの必要な子どもたちを精力的に支援されている専門家をお迎えし、子どもたちの未来を考え議論する機会としたいと思います。

2018年3月18日(日) 13:00～17:00

会場 ホテル・ルビノ京都堀川 (2F 加茂の間)

アクセス:市バス:堀川下長者町下車 2 分 地下鉄 丸太町駅下車 徒歩 15 分

〒602-8056 京都府京都市上京区東堀川通下長者町下ル 3-7 TEL:075-432-6161(代表)

参加費:会員、当事者・家族単位 1000 円 非会員 1500 円(予定)

【開催挨拶】 NPO 法人医療的ケアネット 理事長 杉本健郎氏

【基調講演】

◎小児在宅医療と地域ネットワーク構築◎

医療法人財団 はるたか会 あおぞら診療所 ほっこり仙台 院長
NPO 法人医療的ケアネット理事 田中 総一郎氏

◎学齢期の医療的ケア児に対する国及び自治体における今後の取組み◎

神戸大学大学院医学部保健学科教授
NPO 法人医療的ケアネット理事 高田 哲氏

【シンポジウム】

～ライフステージごとの医療的ケアを探る～

講演(1)子どもたちと家族のための医療的ケア 子どもたち・家族の願い

「医療的ケアを必要とする子どもたちと家族の声を届けるシンポジウム」実行委員会 代表 藤井 蒔氏他

講演(2)未就学児における医療的ケアの取組みと就学に向けた準備について

社会福祉法人イエス団常務理事・愛隣デイサービスセンター所長
NPO 法人医療的ケアネット理事 平田 義氏

講演(3)学校における看護師による医療的ケアの取り組み

豊田市こども発達センターセンター長
NPO 法人医療的ケアネット理事 三浦 清邦氏

フロアとの討議

パネリスト:田中 総一郎氏、高田 哲氏、平田 義氏、三浦清邦氏、ご家族

総括

※会場の後部に間仕切りで区切ったおむつ交換用スペース及びお子さんの休息用にマットレススペースを設けます※

懇親会:17:30～18:30 ホテルルビノ京都堀川 小宴会場 参加費:4000 円

講師陣、参加者同士の交流の場を設けます。是非ご参加ください。

主催:NPO 法人 医療的ケアネット 〒601-8382 京都府京都市南区吉祥院石原上川原町 21 番地

協力:「医療的ケアを必要とする子どもたちと家族の声を届けるシンポジウム」実行委員会

後援:京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会(申請予定)